

# 釜石港で「国際フィーダーコンテナ定期航路開設

## 5周年記念式典」が開催されました

沿岸広域振興局土木部



平成 28 年 8 月 1 日、釜石港の国際フィーダーコンテナ定期航路※が開設から 5 周年を迎え、記念式典が催されました。

式典は、釜石市長による挨拶のほか、コンテナ航路を開設した O O C L (※後述) 日本代表及び井本商運株式会社社長から挨拶をいただき、くす玉開花、記念品贈呈等が行われました。

※国際フィーダーコンテナ定期航路 (釜石港の場合)  
京浜港から海外へ運航するメイン航路へ接続するため、京浜港と釜石港の間を繋ぐ国内を運航する支線航路。

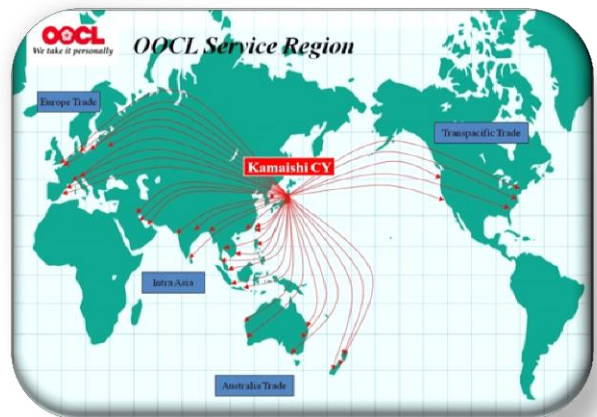
### 1 国際フィーダーコンテナ定期航路の開設へ

定期航路が開設されたのは、東日本大震災津波から間もない平成 23 年 7 月でした。世界的海運会社「**オリेंट・オーバーシーズ・コンテナ・ライン・リミテッド (OOCL)**」と、国際フィーダーコンテナ輸送国内最大手「**井本商運株式会社**」により、「**京浜港**」と「**釜石港**」を結ぶ**国際フィーダーコンテナ定期航路**が、被災沿岸部に暮らす“みんなの思いを乗せて”、産声を上げました。

震災直後、壊滅的な被害を受けた釜石港では、連日、海上と陸上の啓開活動が行われました。また、明日が見えない状況の中で、コンテナ荷役機械の復旧工事に全力を尽くしてきました。

そして、**震災からわずか 4 日後の 3 月 15 日に県内港湾の中で最も早く入港体制が確保**され、翌 16 日には、救援物資を積んだ第 1 船が釜石港に入港しました。

その後、釜石市は、同年 5 月に多目的クレーン、6 月にはストラドルキャリアの稼動を再開させましたが、このような活動が海運会社の目にとまり、定期航路の開設に至りました。



OOCLの国際ネットワーク

資料: OOCL



多目的クレーン



ストラドルキャリア

写真: 釜石市

写真: 釜石市

